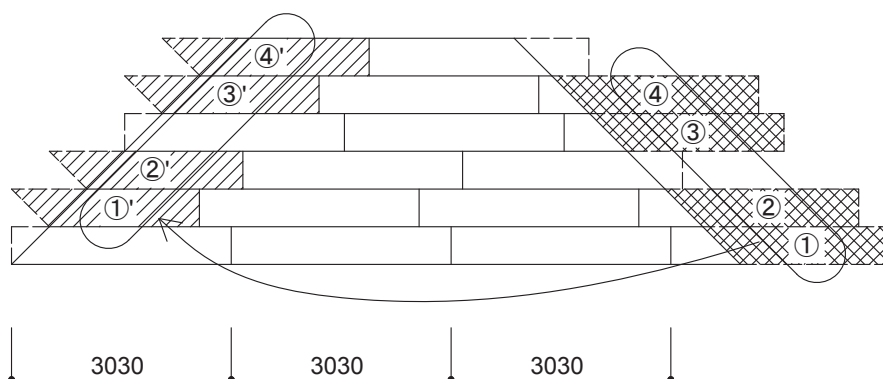


3) 本体の葺き方

①階段葺き

●端材の寸法を優先して使うことにより、ロスの少ない施工が可能です。

※本体の横つなぎ目地が流れ方向で重ならないよう、以下の方法で配置してください。

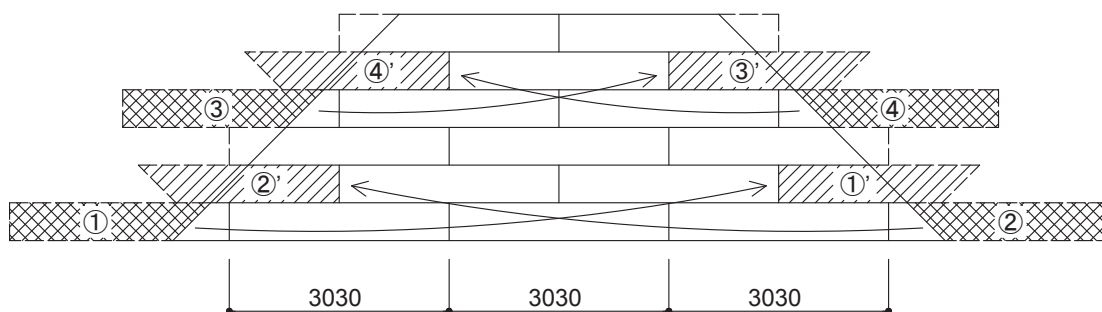


3) 本体の葺き方

②一文字葺き

●端材のロスが比較的多くなりますが目地を揃える施工が可能です。一段おきに本体のつながりができます。

※本体の横つなぎ目地が流れ方向で重ならないよう、以下の方法で配置してください。



●通し捨て板(現場加工)を下に敷くこともできます。通し捨て板を使用する場合は以下の点にご注意ください。

①通し捨て板の固定は吊り子を使用します。

②通し捨て板には本体・付属部材固定用の釘・ビスなどで孔をあけないようにします。

